

09 September 2020
Vol.281
www.njonline.jp

女性の好奇心満載

nj

ノーマ・ジーン

norma jean

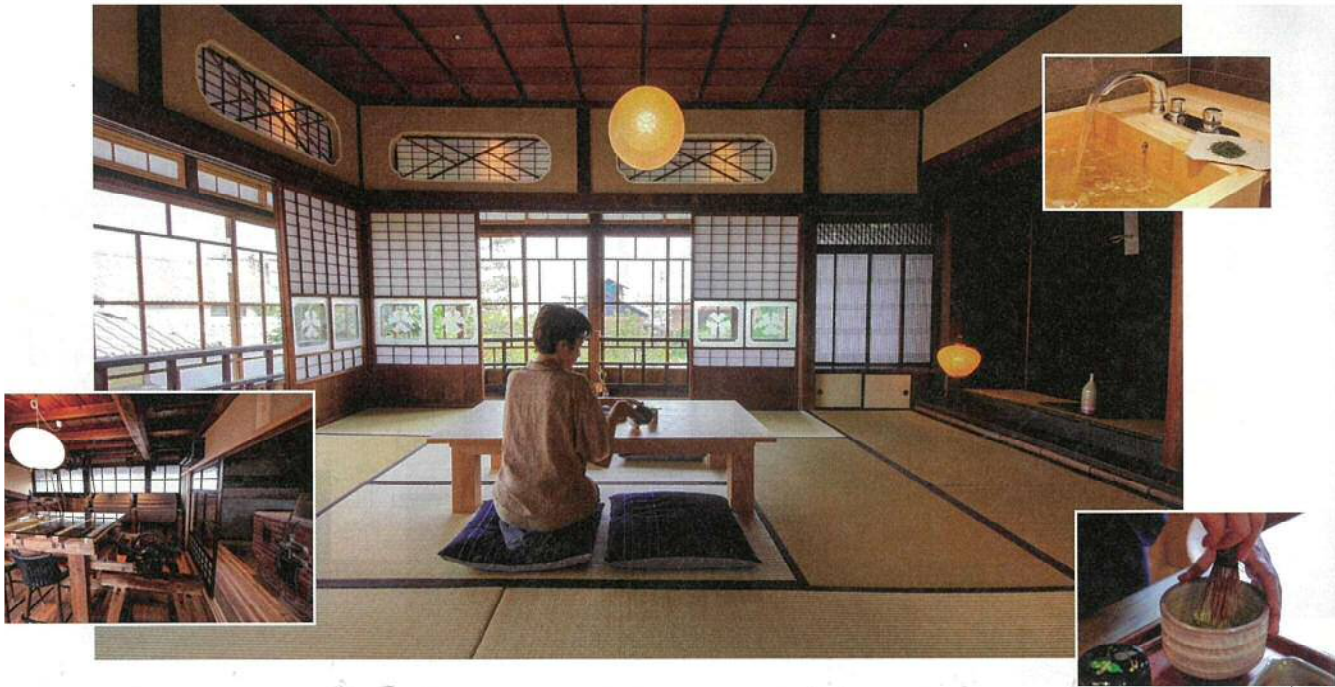


地元で見つける非日常

ステイケーションのススメ

お得・お値打ち・新メニュー
今月のランチはコレ♪

その後悔を今すぐケア！
夏の終わりの美容特集



五感で感じる

茶のおもてなし

古くから茶や提灯、仏壇などの産地としての歴史を持ち、町中にはそれらを扱っていた商家の「居蔵」と呼ばれる土蔵造りの町家が残存する八女市。暮らすように泊まる「ガコンセプト」のこちらは、八女の発展を支えてきた「旧大坪茶屋」と、丁寧に醸したお酒で町の人を喜ばせてきた「旧福島酒造」という築100年以上の歴史的建造物を改修したもので、そんな趣きある町並みに溶け込む姿で佇んでいる。最低限の改修に留めたという客室は、土壁や周り廊下なども当時のまま。茶の製造で実際に使われていた窯や機械などもインテリアの一部として保存されている。時計やテレビは敢えて置かれておらず、西に傾いていく陽が時間の標だ。ゆっくりと夜へと向かう町を眺めながら八女の和紅茶を口に含むと、心が安らぎに満ちていく。

レストランにて振る舞われる夕食は、スイスのグランメゾンで活躍したフレンチのシェフ・石井之悠氏がプロデュース。お茶のマリアージュをテーマにしたコースは、1杯の玉露からスタートする。まだ何味にも染まっていない舌で、玉露ならではのまろやかな甘味とはっきりとした旨味を最大限に感じて欲しいという想いからだ。地元の食材をふんだんに盛り込んだ料理も、茶で煙製にしたものや、茶を食材として使用した品々がズラリ。また、「八女茶ジントニック」や「和紅茶と日本酒のテイテール」などのオリジナルカクテルもあり、あらゆる形で茶の可能性を感じさせてくれる。美食を堪能した後は、ここならではの煎茶風呂で日々の疲れを癒そう。豊かに薫る煎茶に含まれている豊富なビタミンCは、肌の汚れや脂分を落とし肌をスベスベにしてくれるうえ、美白効果まで期待できるのだとか。ココで体感できる「心と身体の一服」を通して、きっと茶が葉という役割を持って伝来してきた源流が理解できるだろう。いつの時代も、人々は茶に癒され救われてきたのだ。

NIPPONIA HOTEL 八女福島 商家町 ☎0120-210-289(VMG総合窓口) 住/八女市本町204 受付/11:00~20:00 駐/有 URL www.yame-fukushimastay.com
◎1室1泊2食付き 24,200円~(税・サービス料込) ◎飲食のみの利用 11:30~15:00(OS14:00)、17:30~22:00(OS20:00) ※ランチは水~月曜、昼・夜共に要予約



宿泊と共に楽しもう!

雄大に広がる緑の絨毯



1969~73年にかけて「県営パイロット事業」としておよそ103ヘクタールの山林を開発して作られた共同茶園「八女中央大茶園」は、茶の産地・八女ならではの観光スポット。晴れた日にはこの場所から有明海や島原半島までを望むことができるそう。朝の柔らかな日差しを受けて青々と輝く茶畑の爽快な美しさはまた格別。茶農家の方の伝統的な仕事風景も目にすることができるだろう。

八女中央大茶園 ☎0943-22-6359(八女中央茶共同組合) 住/八女市本1699